令和８年度第２回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日　　時	令和 8 年 10 月 13 日（火）　10：00～11：35
場　　所	鹿児島市水道局　2 階　大会議室
出 席 者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員７名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、 水道局各課長、関係職員
会 次 第	1　開会 2　管理者あいさつ 3　議題 （1）水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和７年度決算 （2）鹿児島市上下水道事業経営計画に掲げる取組事項の令和７年度実施状況 4　その他 ・令和８年熊本地震に伴う応急復旧の活動報告 5　閉会
主な内容等	１．上下水道事業の決算状況と今後の見通し →　人口減少や節水機器の普及等により、収入は減少する一方で、老朽化した施設の更新や労務単価・資材単価の上昇等により、費用は増加している。これまで経費削減にも取り組んできたものの、この傾向を大きく変えることは難しく、今後、料金改定についても検討していく必要性がある。 ２．管路における耐震化計画の進捗状況 →　水道管路における基幹管路の耐震適合率は、令和７年度末で５３．９%となっており、令和３年度から１３年度の１１ヵ年で実施している第２期水道管路耐震化計画の進捗率は４１．７%となっている。 　下水道管路における重要な幹線等の耐震化率は５４．２%となっており、鹿児島市上下水道ビジョンにおける令和１３年度の指標値である５５.３%に向け、耐震化を進めている。 ３．分かりやすい広報の在り方 →　今後、料金改定について、検討していく必要があり、ひろく市民の方々の理解を得ることができるよう、より分かりやすく、具体的な広報を実施していくほか、ＳＮＳの活用など、より効果・効率的な広報を検討していく。 ４．堆肥化場の再構築、サツマソイルの販売状況 →　堆肥化場は昭和５６年の供用開始から４５年が経過しており、施設の老朽化が見られるため、また汚泥処理で堆肥化方式が最も経済的で、国の方針でも肥料利用が優先されていること等から、更新作業を進めているところである。 　サツマソイルについて、肥料は年間１万ｔ製造しているが、７年度は年間１万１千ｔの販売があり、収入は税抜き１，２４０万円ほどであった。